

3 数学について

数学について、生徒たちはどのように考えているのだろうか。数学学習に対する意識や、好き嫌い、数学の学び方などについて調査した。

なお、国語同様、スペースの関係で、グラフや表は一部しか載せていない。詳しくは、本センター発行の調査報告書をご覧ください。

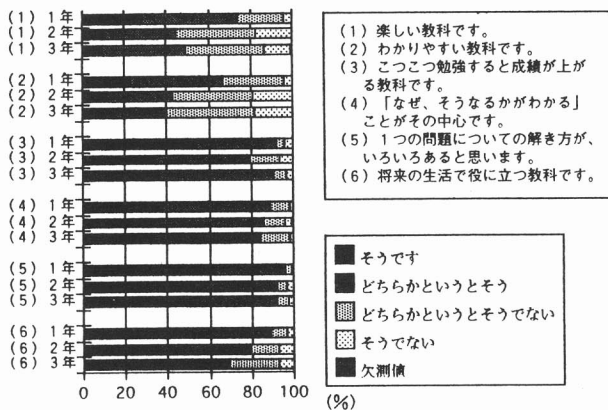
1 数学学習に対する意識

(1) 数学の教科イメージ

数学は、「こつこつ勉強する」「なぜそうなるか分かる」「解き方がいろいろある」「将来役に立つ」教科であると、大半の生徒が考えている。これは成績上位者には、特に強く見られる傾向である。しかし、1年生のとき、70%前後もの生徒が、「楽しい」「分かりやすい」「どちらかといえば楽しい」「どちらかといえば分かりやすい」と答えているが、2、3年生になると次第に減少して半分以下になっている。

学習指導に関するアンケート調査 数学 学年別

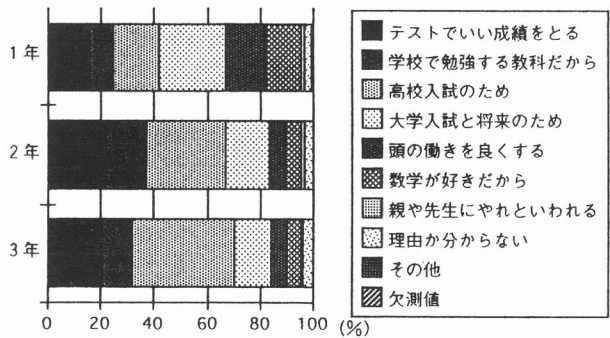
教科観 (学年別)



(2) 数学を学ぶ目的 (1つまたは2つ選択)

数学を学ぶ目的について、「数学が好き」「頭の働きを良くする」といった非功利的な目的意識は乏しい。成績に関係なく、「テスト」「学校の科目」「高校入試」「大学入試」というような実際の、功利的な目的が大半である。

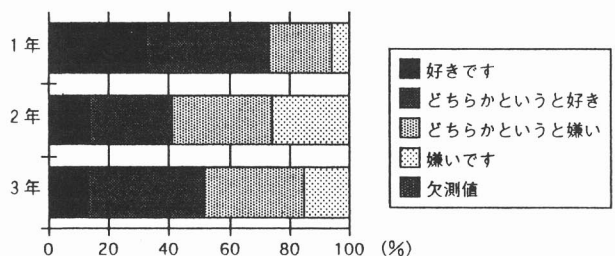
数学を勉強するのは、何のためか (学年別)



(3) 数学が、好きか嫌いか。

「どちらかといえば好き」まで含めれば、1年時に75%もいた生徒たちが、2年で40%になってしまう。

数学の学習が好きか (学年別)



(4) 好きな学習内容 (1位に選んだもの)

図形編を選ぶ生徒は少なく、数量編を選ぶ者が多い。「分数や正・負の数の計算」「文字式の計算」などには親しみがあがり、特に3年生ではその傾向が強まる。

数学の好きな学習内容 第1位～第4位 (学年別)

